

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽基礎 1	
科目基礎情報					
開設学科	コンサートイベント	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	楽譜の読み方 授業時に配布されるプリント				
担当教員情報					
担当教員	根本 英子	実務経験の有無・職種	有・ピアニスト FMパーソナリティ 中学高等学校講師（音楽）音楽教室講師		
学習目的					
仕事として、どのようなジャンルであっても音楽に携わるものが知っておくべき音楽の基礎を学ぶ。楽器経験等の有る・無しに関わらず、最終的には全ての学生が楽譜を追いながら楽曲を聴くことができることを目的とする。また、楽曲に触れることや自身でリズム課題を演奏することなどを通じ、音楽が「聴く」だけのものから、より身近なものとなることを目指す。					
到達目標					
演奏されている楽曲の部分が、楽譜においてどこになるのかが分かるようになるために、音楽の基礎を学習する。単に音符を追うということのみならず、各種記号、音楽用語、拍子など、多様な要素から楽譜にアクセスできることを目標とする。また、そのためには机上での学習のみならず、リズム課題を手拍子等で演奏することなど、実践的な方法でも楽譜を読む力を養う。					
教育方法等					
授業概要	必ずしも音符を読むということのみならず、あらゆる要素から楽譜が追えるようになるよう、リズム・テンポや拍子・音楽用語等、幅広く音楽基礎知識を養う。そして実践に役立つよう、楽譜を追いながら楽曲を聴くなど、音楽と親しむ。また、音楽の基礎知識の一つとして、さまざまなジャンルに引用されているクラシック音楽に触れる機会を持つ。プロミュージシャンとの現場において自信が持てる人材育成を目指し、多少深い内容にも触れる。年間を通じリズム打ち練習を授業後半等に行い、少人数単位で発表する機会を設ける。				
注意点	音楽はあらゆる要素が絡み合っているため、一度休むと理解が困難になる場合がある。やむを得ない場合を除く遅刻・欠席などは極力避けることが望ましい。社会人として基本的なルールを身につけるために、授業態度については厳しく対応する。自ら考え、答えや結果が導きだせるよう、自主的で積極的な学習態度で受講することが望まれる。配布されるプリントは紛失しないように気を付けること。				
評価方法		割合	備 考		
	試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度及び、授業への積極度等確認のために実施する		
	成果発表表 （口頭・実技）	10%	リズム打ちなど、授業内で積極的に成果を発表する力を評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	この授業で学ぶこと		音楽専門学科ではないのに、音楽の基礎を学ぶということについて理解する		
2回	楽譜に触れる		写譜をしてみることで、楽譜というものに触れてみる		
3回	楽譜の仕組み		写譜をしたものを参考にしながら、楽譜を構成する要素を知る		
4回	音名について		楽譜を学ぶにあたってまず必要な音の名前を知る		
5回	音符・休符		音符・休符の形、名称、長さなどを知る		
6回	変化記号について		♯・♭その他の変化記号について理解する		
7回	第6回までの復習		小テストなどにより、理解度をチェック		
8回	拍子について		拍子の役割や種類などを知る		
9回	リズムについて		実際にリズム打ちなどしながら、リズムが読めるように（以降、リズム打ち練習は随時実施）		
10回	省略記号		繰り返しなどの記号について理解する		
11回	楽語について		必要最小限の楽語を知る		
12回	楽器の名前		記譜やステージの配置図などに用いられる楽器の名前の書き方を知る		
13回	楽曲研究 ①		楽譜を見ながら曲を聴き、音と楽譜の関係を理解する		
14回	まとめ		試験範囲の確認 積極的に質問するなどし、試験に備える		
15回	試験後の復習		試験内容解説から前期の復習をし、後期に備える		